

# めぐニュース

かぐめよし少年自然の家だより 令和7年7月発行

早々に梅雨が明け、かぐめよしにも暑い夏がやってきました。

季節を表すことば、夏は、暦の上では、立夏から立秋の前の日までとされます。この暦とは、二十四節季と言われ、一年を二十四に分けたもので、夏至や冬至、春分、秋分などがあります。この二十四の節気を更に、三つに分けた七十二候と呼ばれるものがあります。この二十四節気の気と七十二候の候を合わせて気候という言葉が出来ました。中学生の頃、このくだりを本で読んだとき、そういうことだったのかと感動した覚えがあります。

かぐめよし少年自然の家の玄関を入ると、右側にウェルカムボードがあります。二十四節気と七十二候を表示しています。もう何年も前に作ったので、七十二候も何巡目かになり、あらかた覚えたような気がします。この暦は農業歴でもあり種まきや収穫の時期の目安にもなります。いろいろな植物、鳥、虫などが登場します。ざっと数えてみたところ植物が27回、鳥が10回、虫が8回登場していました。



人間と自然の濃密な関係が窺えます。この暦をかぐめよし風にアレンジしてみてもどうかと、植物の師に言われ、試みたことがあります。「春蝉鳴く」とか、「櫻の葉芽吹く」、「差羽（鷹の一種）来る」、「赤翡翠鳴く」など・・・数年統計をとり、平均値を暦に落とそうとしたのですが、残念ながら未完のままです。温暖化が顕著になり、毎年の花の時期の変化が大きすぎることや、差羽などの鳥は飛んで来なくなったのが理由です。しかし花の開花に目を凝らし、鳥の声に耳をすます日々は今も続いています。これからも季節感のある自然の家を目指してまいります。

七月 半夏生

## New Staff

### 奥村 博幸 (おっくん)



4月から「かぐめよし少年自然の家」に勤めることとなりました、奥村と申します。キャンプネームは「おっくん」です。

前職とはまるっきり違う環境にとまどいながら、諸先輩方の背中を見ながら頑張っています。子どもの頃からボーイスカウト活動に参加していたため、懐かしい気持ちになりながら日々を過ごしています。毎日知らないことが出てきますが、これからよろしくお願いします。

# 頂吉凶鑑 ～第40回～

## 野茉莉 (エゴノキ)



今回ご紹介するのは、エゴノキです。以前、チシャノキの回で、少し触れたことがあります。

「～チサノキと聞いて『伽羅先代萩』を思い浮かべた方は芝居通です。歌舞伎や浄瑠璃に出てくる、あのチサノキはエゴノキで全く別の木です。～」・・・第28回より抜粋

エゴノキは、4月の終わりころに真っ白な花を枝にびっしりと下向きに咲かせます。温暖化の影響でしょうか。10年ほど前は、5月の中旬頃、ウツギの花が咲き始める少し前に咲いていた記憶があります。エゴノキを知らない人も、山道を歩いていたたり、また車を走らせていると、落ちていた花が道を白く染めているのを見たことがあるかもしれません。花が咲き始めたのに気付くというよりも、花が散り始めて、見上げてそこにエゴノキの花が咲いていることに気付くことの方が多いかもしれません。そしてこんなところにエゴノキが・・・とエゴノキの勢力拡大に一役買っている生き物にヤマガラという鳥がいます。ヤマガラはエゴノキの種子を食べるのですが、食べ物の少ない冬に備えて、木の根のくぼみなどに、食べ物を隠す習性があり、食べ忘れたか、置き忘れた種子がそのまま発芽するケースがあるようです。エゴノキの種子は、種皮が固く、発芽しにくいのですが、ヤマガラは殻を割ってから隠すので、そのまま地面に落ちるよりも、発芽する率が高いのだそうです。

エゴノキの名の由来は、果皮がえぐいことから。えぐい木が転訛してエゴノキになったそうです。このえぐい成分は、エゴサポニンです。若い果実をつぶして水の中で揉むと、泡立ちます。昔は、洗濯する際に使用したそうです。

この泡立った液体には他にも利用方法がありました。違法ですが、川に流すと魚が浮いてくるのです。昔、ゲランという乾燥した植物の根が売られていて、この根を川の上流で叩いて毒を流して、浮いてきた魚を獲っていたという話を子どもの頃、聞いた覚えがあります。エゴサポニンも魚毒として、ゲランよりも前から使われていたようです。ゲランが売られなくなってから、魚毒の知識も失われてしまったのか、今は知る人も少なくなりました。

毎年、この花を見るたびに、花の可愛らしさよりも、少し刺激的な感じと後ろめたさが緋い交ぜになった感覚が蘇ってきます。

### 北九州市立かぐめよし少年自然の家

住所: 〒803-0267

北九州市小倉南区大字頂吉451-1

電話: (093)451-3111 FAX: (093)451-3133



Facebook



Instagram



# 主催事業報告



## 第1回ボランティア研修会

ボランティアサークルやまめに新しく加入するメンバーと共に、様々な研修を行いました。プログラムについての安全管理や、参加者との関わり方、救急法の受講、そして何より、「同じ釜の飯を食べ！」やまめの先輩との交流！2日間の研修会は充実したものになりました。これからもかぐめよしを盛り上げてほしいですね。



## 第1回かぐめよし自然少年団

新規団員 13 名が新たに加わり始まった、令和7年度少年団。学年が上がった継続団員が、新規団員達に、テント設営方法や野外調理の仕方を優しく教える姿を見て、「頼もしくなったなあ〜」と感じました。これからは自然体験を通して、知識や経験をたくさん吸収して、ぐんぐん成長して欲しいです。



## 第1回観天望気学習キャンプ

今回の観天望気学習キャンプには3人が集まり、フィールドワークや地元農家さんへのインタビュー、実験を通してお天気のことを学びました。

空を見上げる機会なんてあまりない昨今、スマホを置いて、空を見上げるのもいいですね。



## 春の福智山登山

気持ちのいい五月晴れのこの日、5家族 15 人で北九州市の最高峰、福智山に登りました。途中、隊長からの様々な植物の話聞きながら、みんな頑張ってお山頂に到着。360度広がるパノラマに、笑みがこぼ



れていました。そして待ちに待ったランチタイム。各々好きな場所で景色を見ながらお弁当を頬張っていました。景色を見ながらのお弁当、美味しかったですね！！

## かぐめバンブーキャンプ

昨今、全国的に問題となっている「竹」について学習することを目的にした、「かぐめバンブーキャンプ」を行いました。竹炭作り、竹の食器作りや竹筒ご飯、そして、そうめん流しと盛りだくさんでしたが、みんな、「竹」の活用に興味津々で、楽しく学びながら活動が出来ました。竹炭作りは、大成功で、とても硬くて締まったものが出来上がり、参加者も大喜びでした。



## かぐめふるさと交流

4家族が集った今年のふるさと交流。そうめん流しでは子どもも大人も大はしゃぎ。全員が初めての竹筒ご飯をおいしく食べました。川遊びでは水の冷たさに歓声を上げました。心配された天候も何とかもってくれて、家族同士も仲良くなって充実した2日間になりました。

かぐめよしは、皆さんの第二の故郷になったかな??



## 第2回かぐめよし自然少年団

もじアドベンチャークラブのメンバーを迎えて行われた第2回少年団。梅雨明け発表後の、とても暑い中でしたが、2日間とも川体験で体を冷やし、夜は試胆会で肝を冷やしながらか睦を深めていきました。毎年1回だけの交流ですが、すぐに打ち解け、協力し合いながら楽しそうに過ごしていました。来年は少年団がもじに行く番。海での活動が楽しみです。ね!



# 主催事業のお知らせ 8月~10月

市政だより掲載号	事業名	日程	対象者・人数
8/15号	家族でキャンプだホイ!	9月20日(土)~ 9月21日(日)	中学生以下と保護者7家族
9/1号	はじめての陶芸教室	① 10月4日(土)~ 10月5日(日) ② 11月3日(月・祝)	小・中学生と保護者20名
	第2回観天望気学習キャンプ	10月11日(土)~ 10月12日(日)	小学5・6年20名

応募は市政だよりをご覧ください。お申込みください。